

第26回日本獣医皮膚科学会 学術大会・総会

共催：2023年度 アジア獣医皮膚科学会

メインテーマ

猫アトピー症候群/猫の皮膚科のup date

2023年3月12日(日)

国際ファッションセンタービル KFCホール

学術大会 URL

<https://www.jsvd.jp/topics/26meeting/announcement.html>



会場アクセス

- ▶地下鉄
都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1出口徒歩0分
 - ▶JR
JR中央線・総武線「両国駅」東口より徒歩6分
 - ▶車
KFCビル駐車場：24時間営業・136台
- 〒130-0015 東京都墨田区横網1丁目6番1号
TEL：03-5610-5800



■ 海外講師招聘講演

Quality Of Life, Behaviour And Skin Disease In Feline Dermatology

Chiara Noli (Servizi Dermatologici Veterinari, Italy)

■ 科学講演

悪性黒色腫に対する抗PD-1抗体療法

● 医学領域

「ヒトメラノーマにおけるトランスレーショナルリサーチ」

大塚 篤司 (近畿大学)

● 獣医学領域

「犬の腫瘍に対する抗犬PD-1抗体の開発状況」

伊賀瀬 雅也 (山口大学)

「イヌの悪性黒色腫に対する抗PD-L1抗体の臨床研究」

前川 直也 (北海道大学)

■ シンポジウム

猫のアトピー性皮膚症候群への理解を深める

「行動学からみた猫アトピー性皮膚症候群

～心因性脱毛症も併発するのか?～」

入交 眞巳 (東京農工大学)

「腸内細菌をターゲットにした

猫アトピー性皮膚症候群 (FASS) に対する挑戦状」

川野 浩志 (東京アレルギーセンター、藤田医科大学)

「免疫学からみた猫アトピー症候群」

増田 健一 (理研、動物アレルギー検査株式会社)

■ いまさら聞けない皮膚科学

猫の皮膚糸状菌症へのアプローチ

神田 聡子 (Vet Derm Tokyo)

■ JSVD 推進研究報告

イヌの表在性膿皮症におけるクロルヘキシジン外用治療法およびセファレキシリン全身療法の治療効果比較

～2022年の研究成果と今後の目標～：山崎 真大 (岩手大学)

犬アトピー性皮膚炎-TARCの臨床応用に向けた取り組み～

：朝比奈 良太 (京都大学)

■ JSVD/AiSVD 共催招聘講演

WEB 配信

● Feline Allergic Skin Diseases

- Clinical Manifestations And Approach

● Therapy Of Atopic Dermatitis : Cat

Chiara Noli (Servizi Dermatologici Veterinari, Italy)

■ AiSVD lectures

WEB 配信

● Selected topic of deep mycotic infections in cat, real cases presentation

Lerpen Duangkaew (Unipet BKK Animal Hospital, Thailand)

● Otitis Externa: The Rule For Diagnosis And Treatments

Cheol-Yong Hwang (Seoul National University, Korea)

● CANINE OTITIS MEDIA: DIAGNOSIS AND TREATMENT

Akihiro Imai (JASMINE Animal Referral Hospital, Japan)

■ AiSVD Oral / AiSVD Poster

WEB 配信

● 一般講演 / 口頭発表

1	原田 都留希	山口大学	研究発表	犬の皮膚リンパ腫に対するオクラシチニブの抗腫瘍メカニズムの検討
2	秋田 孝広	秋田動物病院	研究発表	犬のアトピー性皮膚炎におけるオレンジ由来CBD製剤の有効性
3	後藤 謙治	後藤動物病院	研究発表	犬の脂漏症におけるオゾンバブル浴の有効性と安全性の検討
4	大西 早紀	東京農工大学大学院農学府共同獣医学専攻	研究発表	<i>Staphylococcus schleiferi</i> に対するエリスリトールの増殖抑制機構に関する解析
5	田口 範人	株式会社VDT	研究発表	犬アトピー性皮膚炎に対するウルトラファインバブルの効果検証
6	阪野 成美	岐阜大学附属動物病院	症例発表	ステロイド反応性髄膜炎・動脈炎 (SRMA) の治療中にノカルジア症を発症した犬の一例
7	馬場 悠太	東京農工大学	症例発表	細胞形態からは予後評価が難しかった組織球増殖疾患の犬猫の2例
8	澤 由貴	QUARC 動物病院	症例発表	耳道および咽頭に髄外性形質細胞腫を認めた猫の1例
9	境 瑞紀	アイ動物医療センターつくば	症例発表	オクラシチニブ投与により完全寛解を得られた非上皮向性リンパ腫の犬の1例
10	國分 千尋	日本動物医療センター	研究発表	アレルギー特異的IgE検査およびリンパ球反応検査を実施した犬139症例の回顧的調査
11	村山 信雄	犬と猫の皮膚科	研究発表	犬の毛周期停止に対するロキベトマブの育毛効果
12	村山 信雄	犬と猫の皮膚科	症例発表	両耳介の脱毛と耳尖のカールを生じた雑種猫の1例
13	安川 邦美	やすかわ動物クリニック	症例発表	オクラシチニブが著効した過角化型多形紅斑の犬の1例
14	土田 靖彦	ごり動物病院®	症例発表	モーズペーストとトセラニブ (パラディア®) の治療によりQOLが改善した炎症性乳癌の柴犬の1例
15	向坂 武司	京都動物医療センター	症例発表	シクロスポリン長期投与後に乾癬一苔癬様皮膚症に類似の症状を発現したシーズーの1例

● ポスター発表

1	中村 有加里	岡山理科大学	研究発表	軟膏剤等の投与量へのフィンガーチップユニット概念の導入
2	松田 彬	岡山理科大学	研究発表	犬の皮膚バリアに対するオゾン水およびグルコン酸クロルヘキシジンの影響
3	伊藤 友貴	まつおかアニマルクリニック	研究発表	犬アトピー性皮膚炎におけるオクラシチニブの治療成績に関する多施設間回顧的検討
4	瀬川 真心	ピジョン動物愛護病院 川口院	症例発表	オクラシチニブによる治療が奏功した落葉状天疱瘡の猫の1例
5	熊谷 聡士	東京農工大学	症例発表	多発性肢端面皰が認められたアフガン・ハウンドの1例
6	春日 陽一郎	動物再生医療センター病院	症例発表	脂肪由来間葉系幹細胞の投与により改善を認めた難治性アトピー性皮膚炎の犬の一例
7	福井 祐一	こまち動物病院	症例発表	オゾン水スプレーを用いて多剤耐性ブドウ球菌感染症を治療した3症例
8	今井 琢磨	サーカス動物病院、株式会社VDT	症例発表	若齢のフレンチ・ブルドッグに生じた炎症性角化症の一例
9	藤本 来夢	タヤけの丘動物病院	症例発表	マルチーズとトイ・プードルの交雑種に生じた乾癬一苔癬様皮膚症の1例
10	駒田 瞬太郎	コマ動物病院	症例発表	ハバニーズの脂腺炎に薬物療法とスキンケアの両方が奏功した1例とその家系における発生状況
11	成田 朋恵	辻堂犬猫病院	症例発表	グルココルチコイド含有点耳薬による副腎皮質機能抑制が疑われた猫の1例

Time Table

会場 1 (KFC Hall)	
9:00	9:00 開会の辞
9:30	9:10 - 11:10 2講演 各50分 (逐次通訳)
10:00	招聘講演 Quality Of Life, Behaviour And Skin Disease In Feline Dermatology Chiara Noli (Servizi Dermatologici Veterinari, Italy)
10:30	座長 西藤 公司 (東京農工大学)
11:00	
11:30	優秀論文表彰 11:10 - 11:40 定時総会
12:00	11:50 - 12:40 ランチョンセミナー① 猫の皮膚バリア機能とスキンケア 島田健一郎 (日本動物医療センターグループ麻布十番犬猫クリニック)
12:30	協賛：大扇産業株
13:00	13:00 - 15:00 シンポジウム 猫のアトピー性皮膚症候群の理解を深める
13:30	行動学からみた猫アトピー性症候群 ～心因性脱毛症も併発するのか?～ 入交 真巳 (東京農工大学)
14:00	腸内細菌をターゲットにした 猫アトピー皮膚症候群 (FASS) に対する挑戦状 川野 浩志 (東京アレルギーセンター、藤田医科大学)
14:30	モデレーター 大隅 尊史 (動物皮膚科コンサルタント) 小林 哲郎 (理化学研究所)
15:00	15:00 - 15:50
15:30	ポスターセッション
16:00	16:00 - 17:00 免疫学からみた猫アトピー症候群
16:30	増田 健一 (理研、動物アレルギー検査株式会社)
17:00	モデレーター 大隅 尊史 (動物皮膚科コンサルタント) 小林 哲郎 (理化学研究所)
17:30	17:10 - 18:00 JSVD 推進研究報告 イヌの表在性膿皮症におけるクローレキシジン外用治療法および セファレキシリン全身療法の治療効果比較～2022年の研究成果と今後の目標～ 山崎 真大 (岩手大学)
18:00	犬アトピー性皮膚炎-TARCの臨床応用に向けた取り組み - 朝比奈 良太 (京都大学)
	アワード発表・閉会の辞

会場 2 (KFC Hall Annex)	
	9:10 - 11:10 科学講演 悪性黒色腫に対する抗 PD-1 抗体療法
	医学領域 「ヒトメラノーマにおけるトランスレーショナルリサーチ」 大塚 篤司 (近畿大学)
	獣医学領域 「犬の腫瘍に対する抗犬 PD-1 抗体の開発状況」 伊賀瀬 雅也 (山口大学)
	「イヌの悪性黒色腫に対する抗 PD-L1 抗体の臨床研究」 前川 直也 (北海道大学)
	座長 朝比奈 良太 (京都大学)
	11:50 - 12:40 ランチョンセミナー② 2023年さらに注目したい「マブ」達～皮膚科だけじゃない～ 村山信雄 (犬と猫の皮膚科)
	協賛：ゾエティス・ジャパン株
	13:00 - 15:00 一般講演 10題 発表 7分 - 質疑応答 3分
	座長 今井 昭宏 (JASMINE どうぶつ総合医療センター) 森 啓太 (犬と猫の皮膚科)
	15:00 - 15:50 ポスターセッション
	16:00 - 17:00 一般講演 5題 発表 7分 - 質疑応答 3分
	座長 星野 友哉 (どうぶつの総合病院 専門医療&緊急センター) 島崎 洋太郎 (東京農工大学)
	17:10 - 18:00 今さら聞けない皮膚科学 猫の皮膚糸状菌症へのアプローチ 神田 聡子 (Vet Derm Tokyo)
	座長 大嶋 有里 (犬と猫の皮膚科)

第26回 日本獣医皮膚科学会 学術大会

共催：2023年度 アジア獣医皮膚科学会

開催月日 2023年3月12日(日) 9:00 ~ 18:00

開催場所 国際ファッションセンタービル
<https://www.tokyo-kfc.co.jp/>

WEB配信 2023年3月20日(月) 10:00 ~ 4月20日(木) 17:00
3月12日に開催されたJSVD講演は、すべて見逃し配信を行います。
会場での当日配信は行わず、収録配信のみとなりますのであらかじめご承知おき下さい。
AiSVD講演は、JSVD講演の見逃し配信と併せて、WEB配信期間にご視聴いただけます。

参加費 会員：14,000円
非会員：17,000円

会場参加・WEB参加共通

日本獣医皮膚科学会学術大会・アジア獣医皮膚科学会の両方に参加できます

参加登録期間 2023年2月3日(金) 正午 ~ 4月17日(月) 17:00
会場参加を希望の場合**2月28日(火)**までにお申込みください
会場参加は事前登録のみです。当日参加登録はできません。

参加登録方法 下記URLへアクセスし、**参加申込**よりご登録下さい
<https://www.jsvd.jp/topics/26meeting/announcement.html>



お問い合わせ 一般社団法人 日本獣医皮膚科学会
TEL：03-5916-4162 FAX：03-5916-4163
E-mail：info@jsvd.jp <https://www.jsvd.jp>

※新型コロナウイルス感染症の状況により、配信方法・スケジュールが変更となることがあります。

協賛企業

株式会社ファームプレス
株式会社キリカン洋行
住友ファーマアニマルヘルス株式会社
カールストルツ・エンドスコピー・ジャパン株式会社
日本ヒルズ・コルゲート株式会社
株式会社K9 ナチュラルジャパン
株式会社エデュワードプレス
株式会社メニワン
日本全薬工業株式会社
株式会社QIX
ゾエティス・ジャパン株式会社

千寿製薬株式会社
日興リカ株式会社
大扇産業株式会社
株式会社V and P
富士フィルム VET システムズ株式会社
ネスレ日本株式会社 ネスレピュリナペットケア
ロイヤルカナンジャパン合同会社
東栄新薬株式会社
エランコジャパン株式会社
株式会社ワールドエクイップス
ささえあ製薬株式会社
コデン株式会社

(順不同)